

KAGAWAアンバサダーからのお便り ～笠松・エミリア・ユミさん～

香川県の皆様、パラグアイからKAGAWA アンバサダーの笠松・エミリア・ユミです。

パラグアイ共和国は南米の中央に位置する国で、2011年には独立200周年を迎えました。その間、2つの世界大戦に巻き込まれ、領土の多くを失いました。第二次世界大戦末の帝国陸軍の軍人であるイイダ中尉は、パラグアイ兵士の勇猛さを次のように語っています「パラグアイと呼ばれる南米の小国が、国の名誉を守るため3国同盟を結ぶアルゼンチン、ブラジル、ウルグアイの3カ国に対して死ぬか生きるかの闘いを繰り広げている」と。また1932年～35年には、ボリビアとの戦争がありました。これらの戦争により国土は荒廃し国民は苦しい生活を強いられました。そして1935年以来、パラグアイは国の再建に力を注いでいます。

パラグアイと日本との協定によって、1936年に初めて日本人移民を迎え入れました。香川県からの移民である父、笠松尚一は、ラ・コルメナ市における移民地の組織の初代責任者となりました。父は1954年以降、第二次世界大戦後移住してきた日本からの移民を1954年以降継続的に支援してきました。それらの移民団はパラグアイ南東の地域に迎えられました。そして現在、日本人と日系人の人口は約6千人となっています。



★イグアスの滝



★花にあふれたラパーチョ通りに面した
マリスカル フランシスコ ソラノ ロペス軍隊学校

パラグアイの首都アスンシオン市は一年中、緑と花に囲まれており、「イベロアメリカ（元スペインの植民地だった国々を示す）の緑の首都」と言われています。様々な鳥が飛び交う街はたくさんの木々や花々に囲まれています。パラグアイの冬はとても過ごしやすいのですが、夏はとても暑くなります。伝統と現代文化や近代建築物が自然調和し、観光客にとっても、パラグアイのアート、手芸、音楽、民族衣装などは非常に魅力的であります。最近、パラグアイのアート団体がギネス賞を受賞しました。



★パラグアイ川からみたアスンシオン市

私自身は、駐日パラグアイ大使の妻として、日本との友好関係、相互理解、文化交流の促進のため力を尽くしてきました。実際に、南米（パラグアイ）で KAGAWA アンバサダーを務めさせていただいていることはとても光栄であり、これから一層南米の国々と香川県の相互協力と友好関係を深めていきたいと思っています。

ところで、私は文化推進に取り組んでおり、パラグアイ人や日本人、国際組織そしてボランティア活動をしている NGO などの支援も行っています。このようなボランティア活動や社会奉仕については、日本人やパラグアイの人々のために力を注いでいた父の姿を幼いころから見て学んだものです。



★パラグアイダンス

実は私はアスンシオン市長の顧問を勤めており、アメリカにおける“Discover Nikkei”というプログラムの研究を行っています。また、ボランティアではありますが南米女性人権委員会（CLADEM）の調査員にもなっています。そのほか、パラグアイの日系人福祉協議会の会長を務めた後、現在は福祉推進委員会の委員、香川県人会の副会長、日系パラグアイの副会長、国際いけばなアスンシオン支部 198 の会長等を務めております。

アスンシオン市国立大学の教授であった関係で、国内外で会議や懇談を行ってきました。パラグアイはもちろん、東京の上智大学、名古屋南山大学、アメリカのカリフォルニア州大学、香川県、アルゼンチン、ブラジル、ボリビア、カナダ、チリ、メキシコ、ペルーなどでパンアメリカ日系会議などの会議に参加したことがあります。



★パラグアイ 日本 人づくりセンター
1988年、日本の無償資金協力により建設

これまでも、日本人の移民、パラグアイでの社会情勢、女性についてなどの書物を出版してきました。国内外で文学（短編小説、詩、エッセイ）の発表も行っています。

特別な賞として、日本赤十字社、パラグアイペンクラブ、パンアメリカ日系協会からの賞、外務大臣賞などを受賞しています。

数年もすれば、2019年には日系移民80周年、そしてパラグアイと日本の外交関係樹立百周年を迎えます。

80周年を祝うために、私たちはアスンシオン市立公園に日本庭園を作りたいと考えております。JICAを通して造園業者の派遣をしていただき、ぜひこの庭を香川県民と一緒に作りたいというのが私の強い思いであります。そこに日本で最も美しい公園である、栗林公園にある橋を模した「友好の架け橋」を実際に作れないかと考えています。

結びに、香川県民の皆様のご健勝とご活躍を御祈願いたします。



★パラグアイ大統領官邸



笠松・エミリア・ユミ (Emilia Yumi Kasamatsu) さん

アスンシオン市顧問、首都教育審議会メンバー。パラグアイ・アスンシオン在住。KAGAWA アンバサダーを平成 16 年 3 月 22 日に委嘱。

父の故笠松尚一パラグアイ日本人会連合会会長が、土庄町出身。アスンシオン国立大学教授として、日本文化等を研究。現在、各方面でボランティアとして活躍している。

☆KAGAWA アンバサダー事業について

香川県の名誉大使として、海外で広く香川を紹介していただいたり、県の活性化のために経済、観光、文化など幅広い分野で、情報提供や提言などをしていただいたりする事業です。

☆KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在住国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。